

星槎学園高等部で自衛隊を紹介



説明風景



神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平一陸尉）は、6月1日（水）神奈川県大磯町にある星槎学園高等部湘南校の生徒60名に対し、「自衛隊の任務と活動」と題した講話を行った。講話では、メディアからの情報では得られない多種多様な職種や、活動状況などの説明と質疑応答を行った。この講話は「自衛隊をもっと知ってもらいたい」という自衛隊側の所要と、同校から職業紹介として「国防という重要な任務を持つ、自衛隊の職業を生徒に知ってほしい」との要望から実現した。

説明では、任務編成はもとより、東日本大震災時の活動状況や入隊してからの生活状況など多くの写真を使い、学生にも理解容易なように説明を行った。特に、自衛隊の組織は、大災害や有事の際、あらゆる活動に対応できる能力を保持するための多種多様な任務・職種があり、一人の適性にあつた職種が多くあることに多くの生徒が驚いていた。終了後、生徒から「自衛隊に興味があった」などの感想が聞かれ、成果のある説明会となった。

平塚地域事務所は、「今後も、自衛隊を正しく理解して興味をもってもらえるよう、自衛隊の活動等を多く紹介できる場を設けたい」としている。

世界最大級の木造艦、掃海艦「はちじょう」が横浜で一般公開



一般公開中の「はちじょう」と虹



はまにゃんと記念撮影をする来場者



一日艦長任命式



はちじょう乗員と記念撮影をするはまにゃん



自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 松田辰雄 1等海佐）は、6月1日（水）及び2日（木）、第35回横浜開港祭において、横浜新港埠頭に停泊して行われた掃海艦「はちじょう」の一般公開を支援した。

1日（水）の午前中は、入港歓迎式をはじめ、一日艦長任命式や特別公開などの歓迎行事が実施され、その後行われた一般公開では、2日間で延べ4,618人の来場者が訪れた。乗艦した来場者からは、「木造とは思えないくらい迫力がある」「貴重な体験ができて楽しかった」「隊員さんが親切でかっこいい」などの声が多く聞かれた。

また、岸壁に開設した募集広報ブースや装備品展示コーナーでは、大人から子供までたくさんの方々の来場者で賑わいを見せ、特に神奈川地方協力本部のキャラクター「はまにゃん」が登場すると、青空をバックに「はちじょう」と「はまにゃん」のベストショットを撮影しようとする方がカメラを向けていた。

神奈川地方協力本部は、「今後も、集客力のあるイベントを活用し、自衛隊の真摯な活動をPRしていきたい」としている。

東海大学経済学部ゼミ学生潜水艦研修



潜水艦をバックに記念撮影

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平一陸尉）は、6月3日（金）東海大学経済学部ゼミ学生18名に対して「海上自衛隊第2潜水隊群」の研修を支援した。海上自衛隊横須賀米軍基地に着した学生達は、初めて見る護衛艦や作業などに従事する自衛官、米軍の姿を見て歓声を上げていた。米軍基地内に入り全般説明を受けた後、基地内を見学しフードコートでの食事においては米軍関係者で混み合う中、ドルでオーダーする学生達は、東の国のアメリカ気分を味わった。

午後からの潜水艦見学においては、狭い艦内での活動や生活に驚いていたが、艦内の装備、任務の重要性など丁寧な説明を受け、多くの質問がから、関心の高さが伺えた。

研修終了後、各学生からは「非常に内容の濃い研修で充実した楽しい一日であった」「今まで知らなかった自衛隊の姿を体感でき興味を持った」などの声が聞かれ、有意義な研修となった。

平塚地域事務所は、「今後も、多くの若者に自衛隊の活動や任務について理解してもらえるよう、積極的に募集広報活動に力を注いでいきたい」としている。